

平成27年4月15日

臨床研究に関する情報公開について

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされております。

利用する情報からは、お名前、住所など、直接同意できる個人情報とは削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

ご自身の診療データを研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名	マンモグラフィー自動診断の精度検証に関する研究
所属（診療科等）	滋賀医科大学外科学講座（乳腺一般外科）、放射線医学講座
研究責任者（職名）	森 毅（特任講師）
研究期間	平成27年4月15日～平成29年3月31日
研究目的と意義	マンモグラフィーによる乳癌検診は、乳癌の早期発見に極めて有効ですが、画像を読影する医師が少ないため、相対的な医師不足になっています。これからの乳癌検診を安定化させるためには、明らかに乳癌でない画像を除去できる技術が構築されれば、疑わしい画像を専門医が時間をかけて精査することが可能になり、癌の見逃しをさらに低くすることが可能になると思われます。この研究では、マンモグラフィーの自動診断技術を向上させて、専門医による診断を補助できるようなシステムの構築を目指しています。マンモグラフィーの画像を自動診断装置で解析し、自動的に病変部を検出できる技術を構築する研究です。
研究方法	<ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さん これまでに乳癌と診断された患者さんで、マンモグラフィー検査を受けた方●利用するカルテ情報 診断名、画像検査など●研究方法 当院の研究者と立命館大学の研究者で共同開発したマンモグラフィー自動診断ツールを用い、当院で乳癌と診断された患者さんのマンモグラフィー画像が、どの程度乳癌と診断されるかを検討します。 また、それらの画像データをもとに、新たな自動診断ツールを開発する計画です。
問い合わせ先	滋賀医科大学外科学講座（乳腺一般外科） 担当医師 森 毅 〒520-2192 大津市瀬田月輪町 ☎077（548）2238 FAX 077（548）2240